

ミスター・Kの英語教育ワンポイント指導ヒント

千葉県旭市教育委員会外国語教育アドバイザー

千葉大学 教育学部 学校教員養成課程

東京女子大学 現代教養学部 国際英語科 非常勤講師

加瀬 政美

【第14号】 中学校向けバージョン

文構造、文型の理解促進と英語で表現させる時のポイント！

日本語を習いたての外国人の日本語表現はこんな感じですね。

「わたし 食べません カツ丼 それ 食べれません 肉」

言いたいことは十分わかります。では、なぜこうなるのでしょうか？

日本語は、「てにをは」という格助詞によって単語の役割が決まるが英語にはありません。日本語を使うことで慣れてくる外国人は、次の習得の段階で、「わたしは、食べれません、カツ丼を、その理由は、食べれないからです、肉を」になるそうです。「英語の語順で表現していた日本語を、明示的に学習し、使う場面を多くしたら、徐々に日本語の語順に置き換えていく意識で練習した」とアメリカから来たALTの先生がおっしゃっていました。「てにをは」の位置を意識して、使う場面を意識して努力していくと、次のステージになったそうです。「わたしはカツ丼を食べません。その理由は、わたしは肉を食べてないからです。」もうこうなると立派な日本語で、日本語検定2級に合格する力です。これは、旭市に所属するALTからの情報で、英語を話すnativeが、日本語を習得する過程を学ぶことができました。

さて、本題です。英語は、「てにをは」がない代わりに語順と文構造を大切にする言語です。では、語順や文構造を教えると同時に次のポイントを指導するのが効果的です。英語を話す書く時、日本人を英文にする英作文が一般的だったと思います。ここに一工夫入れないと上達に加速されません。

そのヒント手順を紹介します。

- ①日本語を音読します。（頭に入れる）
- ②その音読した日本語を映像化します。（イメージ化する）
- ③その映像と英語をリンクさせます。
- ④映像が浮かんだら、英語を即興的に言えるような意識で練習しそれを習慣的に行います。

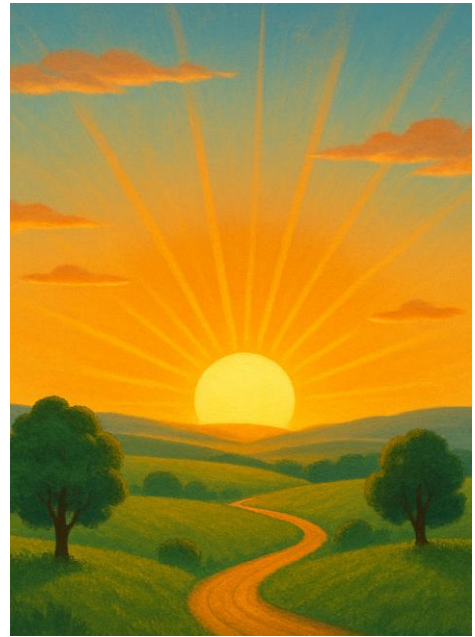
例) 太陽は東から昇る 〇

- ①音読（日本語を音読する！）
- ②映像化（東という広い場所から昇ってるイメージを持つ！）
- ③④The sun rises in the east. （即興的に一気に言う）

もし②がないと

The sun rises from the east.

という日本語を発想した英語になってしまうのです。



まとめ！

〇日本語を英語に直す英作文はもうやめよう！、映像化の一工夫を入れよう！

〇日本語の意味を映像化して、そのイメージを英語で表現する指導プロセスを実践しよう。それが、場面を意識した英語表現につながっていきます。！

普段の指導の中に、一工夫でいいのです！できることから、まず実践です！